

千葉市感染症発生動向調査情報

2020年 第20週 (5/11-5/17) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	20週	19週	18週	17週
小児科	18	18	15	18
眼科	5	5	4	5
インフルエンザ*	28	28	22	28
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	5/11-5/17	5/4-5/10	4/27-5/3	4/20-4/26	5/4-5/10
			20週	19週	18週	17週	19週
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	0
	咽頭結膜熱		0	0	1	1	0
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		10	2	6	8	40
	感染性胃腸炎		20	17	16	17	70
	水痘		1	0	1	1	5
	手足口病		2	1	0	3	3
	伝染性紅斑		0	0	0	1	2
	突発性発しん		13	2	3	12	22
	ヘルパンギーナ		0	1	0	0	1
	流行性耳下腺炎		0	0	0	1	3
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	1	1	1	1
			0.00	0.04	0.05	0.04	0.00
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		0	1	1	0	4
			0.00	0.20	0.25	0.00	0.12
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(12件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	50歳代	IGRA検査	新型コロナウイルス感染症	女性	10歳代	病原体遺伝子の検出
新型コロナウイルス感染症	男性	50歳代	病原体遺伝子の検出	新型コロナウイルス感染症	女性	20歳代	病原体遺伝子の検出
新型コロナウイルス感染症	男性	50歳代	病原体遺伝子の検出	新型コロナウイルス感染症	女性	30歳代	病原体遺伝子の検出
新型コロナウイルス感染症	男性	80歳代	病原体遺伝子の検出	新型コロナウイルス感染症	女性	30歳代	病原体遺伝子の検出
新型コロナウイルス感染症	女性	10歳未満	病原体遺伝子の検出	新型コロナウイルス感染症	女性	40歳代	病原体遺伝子の検出
新型コロナウイルス感染症	女性	10歳代	病原体遺伝子の検出	新型コロナウイルス感染症	女性	70歳代	病原体遺伝子の検出

・第20週は、結核1件(58)、新型コロナウイルス感染症11件(108)の発生届があった。

※ ()内は2020年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第20週のコメント

過去10年の同時期と比べて全て平均未満となっている。

<トピック>

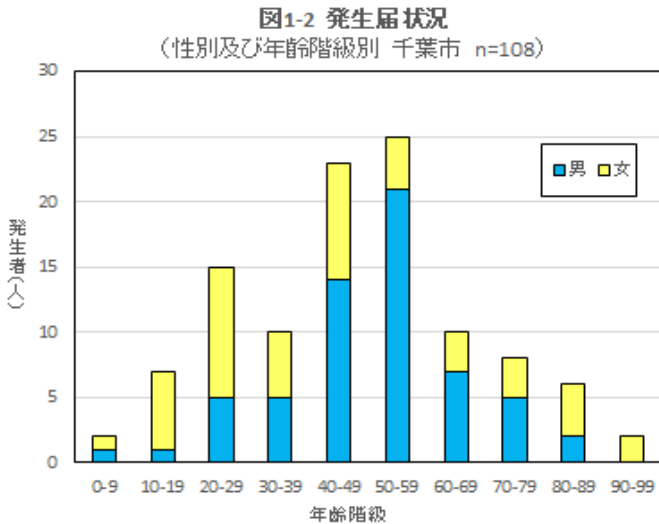
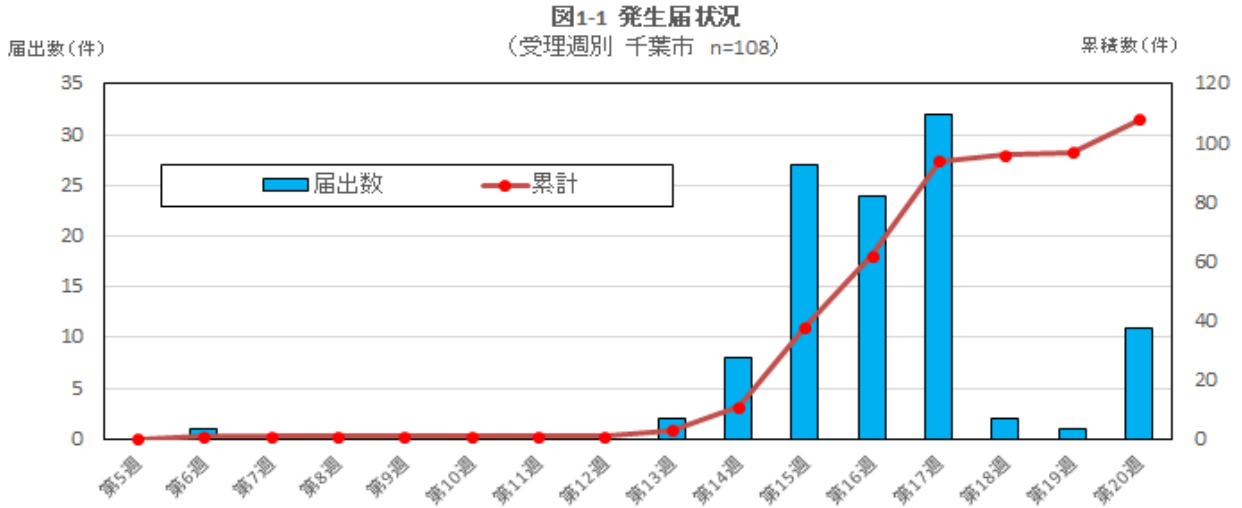
<新型コロナウイルス感染症>

・発生届

第17週以降届出数が減少していましたが、第20週は再び増加し11件の届出があり、合計は108件となりました(図1-1)。

性別では男性が61名(56.5%)、女性が47名(43.5%)で、年齢層は0歳から90歳代まで、年齢中央値は全体で50.3歳で、男性で51.1歳、女性で49.4歳となっています。年齢階級別では50歳代(25名:23.1%)、40歳代(23名:21.3%)、20歳代(15名:13.9%)の順に多くなっています。年齢階級別の男女比は、男性は40歳代~70歳代で占める割合が高いことに対して、女性は10歳代、20歳代及び80歳代以上で占める割合が高くなっています(図1-2及び表1)。

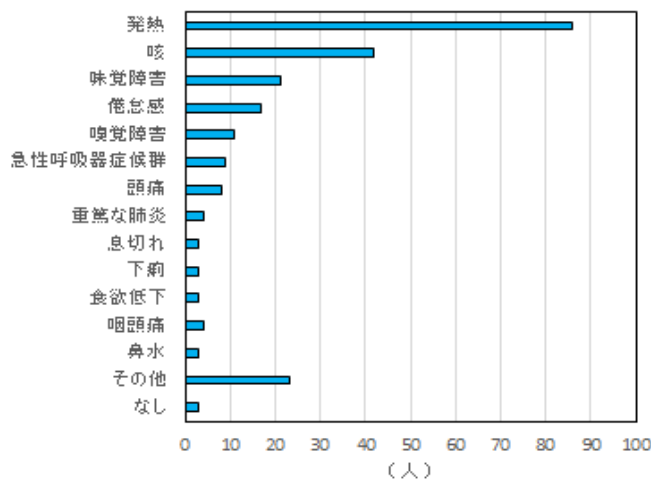
症状は、発熱(86名:79.6%)、咳(42名:38.9%)、味覚障害(21名:19.4%)の順で多くなっています(図1-3)。



中央値	51.1	49.4	50.3	
年齢層	男	女	計	
0-9	1	1	2	1.9%
10-19	1	6	7	6.5%
20-29	5	10	15	13.9%
30-39	5	5	10	9.3%
40-49	14	9	23	21.3%
50-59	21	4	25	23.1%
60-69	7	3	10	9.3%
70-79	5	3	8	7.4%
80-89	2	4	6	5.6%
90-99	0	2	2	1.9%
100-	0	0	0	0.0%
計	61	47	108	100.0%
	56.5%	43.5%	100.0%	

表1 性別及び年齢階級別

図1-3 症状別(重複あり)



・ウイルス検査

千葉市環境保健研究所では、2020年第20週(2020年5月17日時点)までに3104例(検体数3289)について新型コロナウイルス感染症の検査を実施しました。搬入された市中感染・輸入例疑い事例は2852例(うち陰性化確認等210例)となっており、この他クルーズ船関連事例191例(うち陰性化確認126例)、その他陰性化確認等61例の検査を実施しました。

陰性化確認等210例を除いた市中感染・輸入例疑い事例2642例(検体数2776)については、陽性は108例(陽性率：4.1%)でした(図2-1)。年齢階級別の陽性率は、10歳代(7.9%)、50歳代(7.0%)、40歳代(5.3%)の順で多くなっています(図2-2及び表2)。

図2-1 新型コロナウイルス感染症市中疑い事例PCR検査状況

(週別 千葉市：5月17日現在 n=2642)
(クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く)

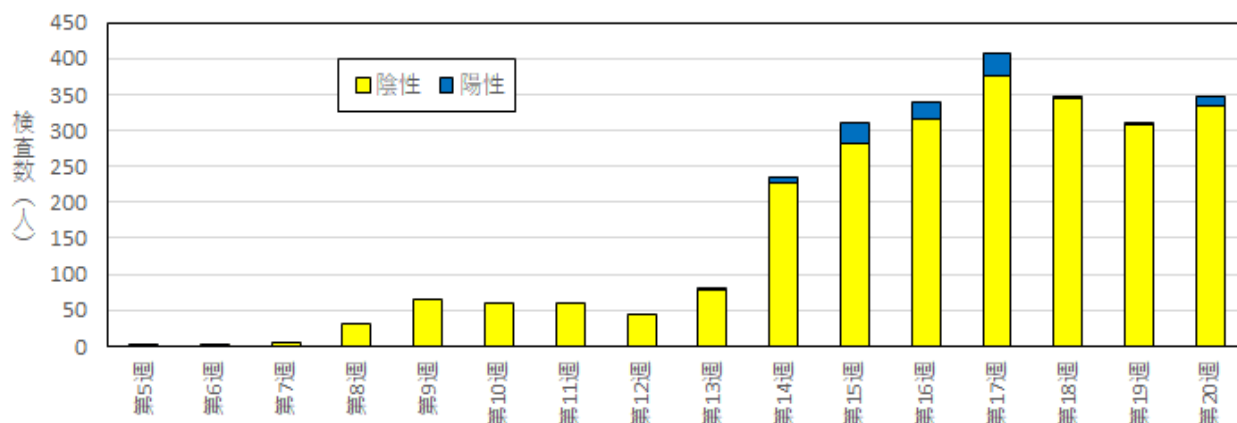
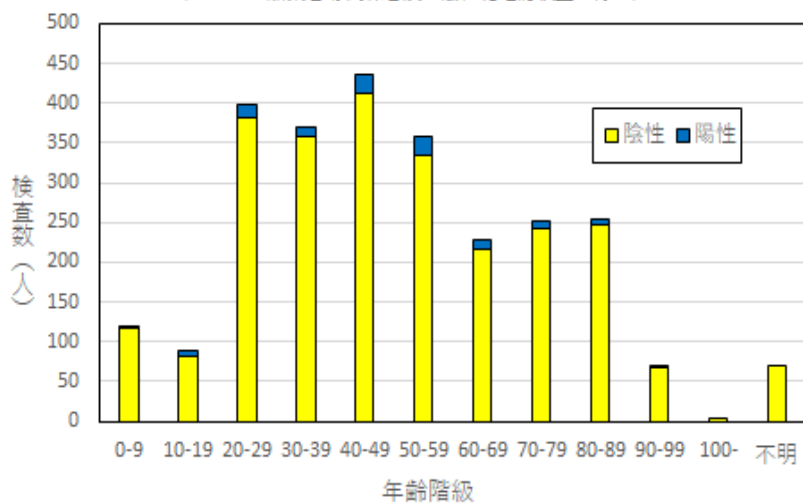


図2-2 新型コロナウイルス感染症市中感染疑い事例PCR検査状況

(年齢階級別 千葉市：5月17日現在 n=2642)
(クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く)



年齢階級	陽性	陰性	計	陽性率
0-9	2	117	119	1.7%
10-19	7	82	89	7.9%
20-29	15	382	397	3.8%
30-39	10	359	369	2.7%
40-49	23	412	435	5.3%
50-59	25	334	359	7.0%
60-69	10	217	227	4.4%
70-79	8	243	251	3.2%
80-89	6	247	253	2.4%
90-99	2	67	69	2.9%
100-	0	3	3	0.0%
不明	0	71	71	0.0%
計	108	2534	2642	4.1%

表2 年齢階級別の検査状況